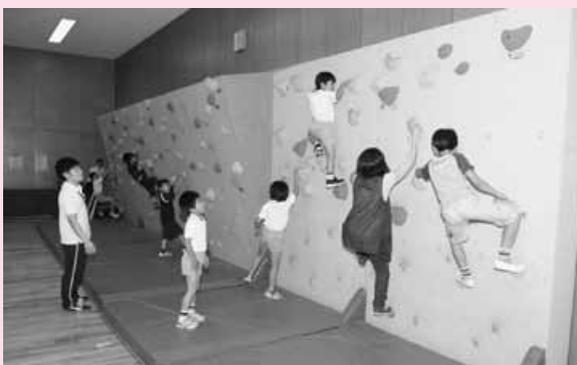


蕨 7 広報WARABI

2011/平成23年
わらび・719

- 平成23年7月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 6月1日現在人口：72,846人 前月比 +44人
男 37,093人 女 35,753人
世帯数：36,283
人口密度：14,283人/km²



リニューアルした市民体育館 注目！ボルダリングウォール

市民体育館では、今、突起物を伝って壁を登る、ボルダリングウォールが大人気。この設備を備えた1階の小体育室では、元気に汗を流す子どもたちの笑顔があふれています。「市内でこの競技が楽しめるのはここだけ」と、同館の高橋館長。皆さんも、ぜひ楽しんでみては？

——— 目 次 ———

- 特集：市長就任挨拶……………2
- わらびネットワーク
ステーションがオープン…6
- いきいきシルバーライフ…8
- 蕨いま むかし……………8
- 親と子のニュースの小窓…10
- 子どもクラブ……………11
- 輝いていま ひと……………12

「新あったかプラン」を進め 蕨の限りない発展に全力を



当選後、就任挨拶前に職員から花束を受け取る頼高市長(6月13日)

市長
よりたか ひでお
頼高 英雄

【プロフィール】
・昭和38年10月10日生まれ
・47歳
・4人家族
・北町1丁目在住
・北小学校、第二中学校、浦和西高校を経て、埼玉大学教養学部卒業
・蕨市議会議員を3期務め、平成19年6月に第6代蕨市長に就任 現在2期目

6月5日に行われた 蕨市長選挙の結果

任期満了に伴う蕨市長選挙が6月5日、市議会議員一般選挙と同時に、市内16か所で行われ、午後8時50分から市民体育館で即日開票されました。開票の結果、現職の頼高英雄氏が当選しました。任期は、平成23年6月5日から平成27年6月4日までの4年間。当日の有権者数は、5万6989人(男2万9108人、女2万7881人)で、投票率は平成19年の市長選挙59・24%を5・71%下回る53・53%でした。なお、各立候補者の得票数は、次の表のとおりです。

当	候補者名	得票数
三輪 一栄	頼高 英雄	19365
10622		

今日は、頼高英雄市長が第2回蕨市議会定例会初日に述べた「市長就任挨拶及び報告」の全文をご紹介します。

おり、被災者の皆さんには心からお見舞いを申し上げます。さて、議場におられる議員の皆様の中で、このたび、6月5日の市議会議員選挙に立候補されましたかたがたにおかれましては、全員みごとに当選を果たされ、市長として心からお祝いを申し上げます。ありがとうございます。

また、今期で勇退される議員の皆様には、今議会が最後の議会となりますが、長年にわたり、蕨市政の発展と、市民福祉の向上にご尽力をいただきましたことに、心から敬意と感謝を申し上げます。私自身におきましても、このたびの市長選挙で、市民の皆さんの大きなご支持をいた

だき、再選することができました。今回の選挙結果は、マニフェストの着実な推進や市政の健全化、そして、いつでも市民の皆さんと触れ合いたい、ともに市政を進める「あったか市政」を市民の皆さんが積極的に評価していただいております。同時に、あら

ためて、市民の皆さんの期待の大きさを実感しており、この4年間着実に前進してきた蕨の市政を、更に発展させるべく、決意を新たにしているところです。
「新あったかプラン」推進
さて、私は、2期目のマニフェスト「新あったかプラン」

本日、ここに平成23年第2回蕨市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員の皆様には、たいへんお忙しいなか、ご参集を賜り、厚くお礼を申し上げます。今定例会でご審議いただく案件は、条例案1件、人事案7件、契約案1件、その他1件の計10件であります。いずれも重要な案件でありますので、慎重なご審議をいただきますようお願い申し上げます。

まず、未曾有の大災害となりました東日本大震災から100日余りが経過しましたが、あらためまして、震災で亡くなられた多くのかたがたのご冥福を深くお祈りするとともに、今、なお多くのかたがたが不自由な避難生活を送られて

市長マニフェスト〈安全安心、希望と活力あふれる蕨へ〉

3つのビジョン

- ①防災・防犯・環境など安全安心のまち
- ②にぎわいと活力のあるまち
- ③子ども・お年寄り・障害者にやさしいまち

41項目のマニフェスト

防災、防犯、環境、まちづくりなど安全安心、環境にやさしい蕨へ

・全ての学校体育館の耐震化を4年間で完了	4年以内
・保育園や公民館など公共施設の耐震化促進	4年以内
・水道などライフラインの更なる強化	4年以内
・自主防災組織への支援強化	すぐ実行
・LED防犯灯400基設置(取替え)	4年以内
・自主防犯組織への支援強化	すぐ実行
・蕨市内の犯罪発生件数を20%削減	4年以内
・家庭用太陽光発電に対する助成	2年以内
・リサイクルフラワーセンターを活用したエコキャップと花いっぱい運動の拡大	4年以内
・錦町土地区画整理事業の促進	4年以内

地域活性化、元気な商店街、文化スポーツなどにぎわいと活力ある蕨へ

・防災含め、地域密着型公共事業で地域活性化	4年以内
・中心市街地活性化計画の国の認定と本格的推進	4年以内
・蕨東西口のコミュニティ・ショッピング道路整備	4年以内
・空き店舗有効活用事業の実施	すぐ実行
・都市計画制度を活用し、防災や商店街活性化など中央第一地区の新たなまちづくりの推進	4年以内
・蕨駅西口第二、第三工区の「市負担の大幅削減」に向けた計画見直し	4年以内
・住宅リフォーム助成制度の拡充	すぐ実行
・わらびりんどでロマンあるまちづくり推進	4年以内
・音楽によるまちづくりの推進	4年以内
・文化スポーツ施設のインターネット予約導入	2年以内

子育て支援、教育の充実など子ども達の笑顔あふれる蕨へ

・待機児童の解消に向け、認可保育園の増設	4年以内
・学童保育(留守家庭児童指導室)の時間延長	2年以内
・小・中学校へのエアコン設置	2年以内
・小学校全学年での35人程度学級実施	2年以内
・全小・中学校での学校図書充足率100%へ	すぐ実行
・子宮頸がんワクチンへの公費助成	すぐ実行
・アウトメディア宣言で、青少年の健全育成推進	2年以内
・希望する児童を対象とした学校土曜塾の開設	2年以内

介護、健康づくり、障害者福祉などだれもが安心して暮らせる蕨へ

・特別養護老人ホームの増設	4年以内
・75歳以上の「ぶらっとわらび」無料化	2年以内
・市立病院の経営改革と診療体制の拡充	4年以内
・高齢者の肺炎球菌ワクチンへの公費助成	すぐ実行
・障害者のグループホーム設置	2年以内
・一人暮らし高齢者の見守りや災害時の避難支援	4年以内

市民との協働を本格的にすすめる心が通い合い、みんなで作る蕨へ

・市民参画協働のための条例制定	2年以内
・地域貢献活動に対するポイント制度導入	2年以内
・ネットワークステーションをくくる1階に整備	すぐ実行

引き続き、市財政の健全化をすすめ持続可能な都市・蕨へ

・市の借金総額を4年間で10億円以上削減	4年以内
・市の人件費を4年間で2億円以上削減	4年以内
・国、県の補助金の積極的活用	4年以内
・市の滞納債権回収の体制強化と取納率向上	4年以内

※「すぐ実行」：平成23年度に実行・着手。「2年以内」：平成25年度までに実行・着手。「4年以内」：平成27年度までに実行・着手



今後も市民の皆さんとの触れ合いを大切に(写真:東公民館)

たがたは、福島県が用意した埼玉県内のホテルに移ることになったことから、一時避難所は、4月末をもって閉鎖いたしました。更に、被災者受け入れ家庭に対する水道料金の減免、転入児童・生徒に対する就学援助の適用などの支援も行ってきたところです。

また、被災自治体への支援として、6月6日より7月1日まで、宮城県七ヶ浜町に、蕨市職員を延べ16人派遣することとなった。既に、現在、第3陣が現地業務に当たっています。

次に、東京電力福島第一原発の事故に伴う対応でありま

すが、放射線の影響について、市民の皆さんの不安にお応えするために、これまで実施してきた水道水の検査に加えて、市独自に測定器を購入し、学校や保育園、公園などの測定を行うとともに、学校などのプールについても、測定を委託したところです。結果が出しだい、市ホームページなどで公表してまいります。

これからも、市民の皆さんと力を合わせ、心一つに、被災地支援と蕨市民の安全安心の確保に向け、全力を尽くしてまいります。

7万市民の幸せに向けて

以上、就任の挨拶と市長報告を申し上げましたが、私は、今回の市長選挙の中で、市内の数多くの場所で政策を訴えさせていただきました。その場所ごとに、この4年間、町会の皆さんや多くの市民の皆さんと、いろいろな行事で触れ合ってきた場面が思い出され、あらためて、市民の皆さんとともに歩んだ4年であったと実感いたしました。

そして、まちへの深い愛着を持ち、まちづくりに積極的に参加する蕨の皆さんの力は、

市民と市長の面会日

面会日=毎月第1木曜日 今月は7日、来月は4日を予定しています。
時間=午後1時～5時 面会は1人30分程度です。
※場合によっては、長時間お待ちいただくことがありますので、事前にご連絡をいただくとスムーズです。
詳細=市役所3階秘書広報課(☎433・7701)



6月5日、市長選挙と同じ日に市議会議員一般選挙(定数18)の投票が、市内16か所で行われ、午後8時50分から市民体育館で即日開票されました。任期は7月20日から4年間です。当日の有権者数は、5万6989人(男2万9108人、女2万7881人)で、投票率は前回の59.23%を5.7%下回る、53.53%でした。新旧別では、現職13人。新人5人。党派別の内訳は、無所属9人、共産党4人、公明党3人、民主党2人となりました。

市議会議員一般選挙の結果

候補者名	得票数	年齢
矢作太郎	665	40 無新
古川 歩	1058	41 無新
山内俊和	1172	67 無新
前川康恵	1192	45 無新
榎本和孝	1225	31 無新
志村 茂	1291	61 共現
一関和一	1307	60 民現
大嶋公一	1406	33 民現
川島善徳	1442	62 無現
松本 徹	1446	56 公現
梶原秀明	1481	48 共現
保谷 武	1514	36 無新
比企孝司	1514	58 無現
大石幸一	1617	48 公現
鈴木 智	1697	45 共現
小林利規	1731	46 無新
高橋悦朗	1807	57 公現
山脇紀子	1822	38 共現
今井良助	1856	71 無現
池上智康	2514	55 無現

※年齢は平成23年6月5日現在

特集：市長就任挨拶及び報告



において、蕨のこれからのまちづくりについて、3つのビジョンと41の推進項目をお示しました。

第1のビジョンは、防災、防犯、環境など、引き続き、安全安心のまちを目指すことです。

防災対策では、遅れていた公共施設の耐震化について、まずは、学校校舎の耐震化を完了することができました。その成果の上で、その成果の上に立って、学校体育館や公民館などの耐震化に取り組みとともに、自主防災組織への支援を強め、地域の助け合いの力、防災力を高めてまいります。

防犯対策では、町会をはじめとする多くの皆さんの防犯パトロールなどのご協力もあり、昨年までの4年間で、市内の犯罪件数は20%減少しましたが、引き続き、自主防犯組織への支援を拡充

し、省エネ型のLED防犯灯を400基設置または交換するなど、環境面に配慮しつつ防犯対策を強めてまいります。

更に、家庭用太陽光発電に対する新たな助成制度を創設するなど、環境に優しいまちづくりを進めてまいります。

第2のビジョンは、にぎわいと活力あるまちを目指すことです。この間、商店街街路の電気料に対する市の補助の引き上げや、商店街活性化補助金など、商店街への支援を強めるとともに、中心市街地活性化計画の策定や蕨市にぎわいまちづくり連合会と連携しての空き店舗有効活用事業の創設など、活性化のしくみを作っていました。いよいよ、これからの4年間で、これらを本格的に実行に移し、にぎわいと活力あるまちを目指してまいります。

第3のビジョンは、子どもとお年寄り、障害者に優しいまちです。この点では、蕨駅のエレベーター設置や県南4市で初めてとなる中学卒業までの医療費無料化など、この4年間で、大きく前進してきましたが、その成果の上に立って、入所希望者の多い特別

養護老人ホームについて、市内3か所目の整備を図るとともに、小・中学校へのエアコン整備、待機児童解消に向けた認可保育園の増設、障害のあるかたがたが、将来にわたって、蕨に住み続けられるよう、その生活の場であるグループホームの整備などに取り組んでまいります。

以上申し上げた3つのビジョンは、私が、1期目の4年間、市民の皆さんとともに進めてきた「あったか市政」の成果の上に立って、それを更に前進させるものであり、この「新あったかプラン」の着実な推進を通して、市民の皆さんの期待に全力でお応えしていきたいと思えます。

そして、その着実な推進を図るために、庁内に、マニフェスト推進会議を設置し、その進捗状況については、1年に1回検証し、市民の皆さんにお示ししてまいります。

東日本大震災の対応報告

最後に、前定例会後の市長報告として、東日本大震災への蕨市の対応について、ご報告申し上げます。蕨市では、震災発生以来、被災地支援と

蕨市民の安全確保に全力を尽くしてきたところですが、まず、被災者支援のための義援金につきましては、公共施設に設置した募金箱等を通じて、市民の皆さんから約750万円もの義援金をお寄せいただき、また、蕨市としても予備費から100万円を拠出し、それぞれ、日本赤十字社埼玉支部及び全国市長会を通じて被災地へお送りいたしました。

被災者の一時避難所につきましては、3月23日から、交流プラザ「さくら」内に開設し、2世帯8名のかたがたを受け入れられました。これらのか



市内全小・中学校プールの水を採取し、放射線計測を委託(ヨウ素131、セシウム134、セシウム137ともに不検出(6月24日))



NPO法人 コミュニティビジネスサポートセンター代表理事
ながさわ えい 映 さん

目的・ビジョンを明確に

わらびネットワークステーションは、蕨市が元来、コミュニティが豊かなまちということを踏まえて、単に市内の市民活動団体の情報を収集し発信するだけでなく、それぞれの団体を横につなげネットワークを広げていくという横軸の支援機能を有している点に可能性を感じます。

ただし、ネットワークは単純に広げることを目的とするのではなく、「蕨のまちをどのようにしていくのか」という明確なビジョンを持つことが重要となります。明確なビジョンを皆さんに示して、共感や賛同を得られれば、一体感が生まれ、蕨の地域力の向上につながっていくと思います。加えて、この施設が駅前的好立地にあることから、蕨の魅力を高めながら、その魅力を市外にも発信することで、市外からも人材を呼び込めればなお、素晴らしいですね。

市民活動サポートする設備

では、施設の概要をご紹介します。フロア内(下図)には6人掛けのミーティングテーブルや印刷機(有料)、コピー機(有料)、情報掲示板などがあり、団体登録をすれば自由に使うことができます。団体のちよつとした打ち合わせや会議の資料作り、イベントのお知らせなどに利用できます。なお、登録いた

だいた団体情報は、わらび市民ネットのホームページや情報ファイルに掲載できますので、団体のPRや会員募集などにも活用いただけます。また、市民活動を始めるきっかけをつかみたい人の相談にも乗っていますので、お気軽にお越しください。ご利用いただけるのは祝日、年末年始を除く火曜日から日曜日の午前8時半から午後9時(土日曜日は午後5時)までです。



協働で更に魅力あるまちへ

わらびネットワークステーションでは、「地域のために何かしたい」「仲間を増やしたい」という人々に、さまざまな市民活動情報をお届けします。また、「仲間を増やしたい」という人々に、さまざまな市民活動情報をお届けします。また、「仲間を増やしたい」という人々に、さまざまな市民活動情報をお届けします。



皆さんの市民活動を応援します

わらびネットワークステーション

6月1日、市民活動を応援する拠点として、「わらびネットワークステーション」がくるる1階にオープンしました。運営は、市民有志によって設立された「わらび市民ネット」と市が協働で行っています。そこで今回は、新しく出来た同施設の概要を紹介します。

市と協働で運営を行う「わらび市民ネット」

気軽にお立ち寄りを

わらび市民ネットは市民活動を支援することで蕨を盛り上げたいとの思いの下、市民活動をしているメンバーなどが集まり、運営に当たっています。

開所に当たっては、多くの皆さんにご協力いただきながら議論を重ね、戸田や川口など近隣市の市民活動センターを視察にも行きました。長い道のりを経ての開所ですが、これからが本番。まずはお気軽にお立ち寄りください。



わらび市民ネット 会長
うえだ ふみこ 植田 富美子 さん

わらび市民ネット活動経過
平成19年に蕨市市民活動ネットワーク懇話会として発足。20年に市から委託を受け2年間、(仮称)市民活動サポートセンター設置に向け、調査・研究を行い、提言書をまとめた。

協働による市民活動の拠点

蕨市は、町会や婦人会などの地域活動、福祉や環境美化などのボランティア活動、そして、生涯学習活動といったさまざまな市民活動がとて盛んなまちで、こうした市民の皆さんの自主的な活動が、地域を支え、住みよいまちづくりにつながっています。

そこで、市では蕨の市民活動がこれからもっと活発になって継続していけるよう、皆さんの活動を応援しようと、先月1日、「わらびネットワークステーション」が、くるる1階にオープンしました。

運営は、市民活動を支援するため市民の有志で設立された「わらび市民ネット」と市が協働で行っています。

開設までの経緯は、平成19年に蕨市が定めた「市民参画・協働のまちづくり指針」に「市民活動サポートセンター」の設置を位置付けたことに始まります。その後、わらび市民ネット植田会長(右囲み)の話にもあるように、具体的な機能や設置場所、運営方法などの検討を重ね、蕨市出身でコミュニティビジネスの専門家である永沢さん(7囲み)にもアドバイスをいただき、実現に至りました。

市内には多くの市民活動団体があり、左の声のようにニーズはさまざまです。同ステーションはそうした情報を収集・発信するほか、団体どうしの活動をつないでいきます。

相談に乗ってください

子育て学級に参加したときに、託児や読み聞かせのボランティアの皆さんにとってもお世話になりました。この春、娘が幼稚園に入り、子育てが落ち着いたので、地域のために何かお役に立てればと考えています。ぜひ、一度相談してみたいです。



市民活動に興味がある
とみむら 美紗 さん

会員の裾野を広げたい

蕨はユニホックが盛んなまちですが、中学生など伸び盛りの世代が、サッカーなどメジャーなスポーツに移ってしまうという課題があります。競技人口を増やすためにも、同施設の横のつながりを生かし、学校や地域に広がってほしいです。



ユニホック
Dippers 代表
ののざき 裕司 さん

情報収集に利用したい

働く皆さんが主役となって地域に役立つ仕事興しを進めるNPO法人です。今月中旬に蕨市初の児童デイサービスを開設します。今までは、地域の情報を得るのに苦労しましたが、これからは情報を収集できる同施設が出来たので心強いです。



NPO法人ワークス
コープわらび教室
かわさき みゆき さん

情報提供(団体登録)のお願い

わらびネットワークステーションでは、現在、情報提供をしてもらえる市民活動団体の登録を受け付けていますので、ぜひ、ご登録ください。
※市の「わらび市民活動団体一覧～さあはじめよう市民活動～」や「市民活動団体アンケート」で情報提供いただいている団体は、情報掲載承諾書を提出してもらうことで登録となります。
問い合わせ=同ステーション ☎445・7256

情報ダイヤル

掲載は無料です
図秘書広報課 (☎433・7703)

【差し上げます】

▶ **ダイエット器具** (スポーツボード・長さ150㎝、幅30㎝、高さ80㎝) 新品同様 取りに来てくれる人<谷口・☎080・5081・5073>

▶ **猫** (3匹) ミケ(雌1匹)・茶と白(雄1匹・雌1匹) 取りに来てくれる人<小暮・☎443・3098>

▶ **液晶テレビ用ラック** (40型まで対応) 未使用 取りに来てくれる人<吉田・☎443・1678>

【参加しませんか】

▶ **くるるダンスパーティ** ①16日・23日 市民会館 ②28日 文化ホールくるる いずれも午後1時 499円 成人<SKKD研究会・犬塚・☎441・7373>

【仲間になりませんか】

▶ **蔵少年少女合唱団** 水曜日 午後5時 中央公民館 月2,000円 幼児~小学生 随時見学可<津久井・☎090・4361・5103>

▶ **英書を読む会** 金曜日 午後1時半 中央公民館 月500円<高橋・☎432・4498>

▶ **蔵中東カンフークラブ** 土曜日 午前10時 中央東小学校 月3,000円 5歳以上<高橋・☎080・6690・2121>

▶ **南園基クラブ** 火曜日 午前10時 南公民館 無料<井上・☎442・0259>

▶ **蔵現代史を学ぶ会** (近現代史) 第1月曜日 午前10時 旭町公民館 年3,000円<畠田・☎447・0103>

▶ **遊歩会** (散策) 第3水曜日 午前9時 年2,500円<長谷川・☎431・2541>

▶ **静波会** (民謡) 月3回水曜日 午後1時半 東公民館 月1,000円<野田・☎442・2171>

▶ **福寿会** (民謡) 月3回火曜日 午後1時半 旭町公民館 月1,500円<坂坂・☎431・2866>

▶ **ヨーガシャンティ** 月4回木曜日 午後1時半 中央公民館 月2,000円<高橋・☎432・4498>

【ご相談ください】

▶ **蔵断酒会** (酒害相談) 5日=中央公民館 13日=南公民館 21日=旭町公民館 午後6時半<岡田・☎441・3172>



■住宅用火災警報器の設置/まだ設置をしていないご家庭はお早めに 設置場所は原則寝室と階段です 詳細=消防本部予防課 (☎441・0174)

ま ち の 話 題

被災地へ市職員を派遣
市では、被災地の自治体に対する人的支援のため、宮城県の要請を受け、同県七ヶ浜町に職員の派遣を決定。6月1日に結団式を行いました。期間は6月6日から今月1日まで、業務は被災家屋の現況調査補助です。4人が1週間単位で交代し、延べ16人を派遣しました。

被災地へ市職員を派遣



6月10日は無灯火ゼロ
蔵市は交通事故のうち、自転車事故が多いことから、市独自に6月10日を無灯火ゼロの日と定めて、事故防止の啓発を行っています。今年も交通安全関係団体50人が駅前LEDライトを配りながら、夜間点灯を呼びかけたほか、自転車商組合による無料点検も行われました。

6月10日は無灯火ゼロ



アジサイ楽しむお祭り
500本のアジサイが楽しめる中央2丁目のねむのき公園で「あじさいまつり」が6月11日と12日に開かれました。地域の皆さんによる模擬店やミニゲーム、義援金バザーなどが行われたほか、恒例の蔵音頭には300人が参加。延べ1500人が訪れる盛況ぶりでした。

アジサイ楽しむお祭り



地域ぐるみで清掃活動
6月12日、地域の道路や公園などの清掃活動をする「クリーンわらび市民運動」が、市内の全37町会で一斉に行われました。参加者は4099人と、昨年より152人少なかったものの、空き缶や雑草など、昨年と比べ約22%増の9230結ものごみが集められました。

地域ぐるみで清掃活動



祭りで広がる福祉の輪
6月12日、総合社会福祉センターで障害者と地域のかたの交流を深める恒例のお祭りを開催。同催しは今回、東日本大震災のチャリティーも兼ね、かがやき太鼓や第二中学校吹奏楽部の演奏、ワラビー君パンの販売などにぎわい、320人は福祉への関心を高めました。

祭りで広がる福祉の輪



■電気ダイエットコンクール/応募用紙配布=市役所1階市民活動推進室 県温暖化対策課ホームページで確認を 詳細=同課 (☎048・830・3038)

いきいきシルバーライフ

陶芸とともに広がる笑顔いっぱい地域へ

趣味の陶芸やさまざまなコミュニティ活動を通じて、地域の触れ合いを深めている、小川忠太郎さんをご紹介します。

陶芸通じて地域交流

自宅にある作業場で、真剣なまなざしで、ろくに手を伸ばすのは、小川忠太郎さん(南町3丁目・70歳)です。焼き物に興味を持ち、益子や萩など、全国を巡り、陶芸家の仕事場である「窯場」を訪れていた小川さんが、陶芸を始めたのは20年前。何人もの陶芸家との会話や、その作業工程を見学するうちに、自分もろくろを回したいと思うようになりました。

「作品には、そのときの自分の心が表れてきます」と、小川さん



そしてすぐに、「我が子を産み、育てるような感覚」という、その魅力のとりこに。最初は、うまく作ろうと力が入り過ぎて、失敗の連続でしたが、少しずつ、「もうちょっと我慢してな」というように、粘土に語りかける喜びを覚えてきたそうです。グループ展に参加するなど、着実に技術を向上させてきた小川さんが、一大決心をしたのは、平成10年頃のこと。目標でもあった窯を購入することにしました。

「窯」と名付けられたその窯には、「見てくれる人への笑顔になってもらえるような作品を作りたい」との願いがこめられています。窯に作品を入れ、1200度以上の高温で30時間焼き続けた後、扉を開けると、外気が窯の中の作品に触れ、「チリンチリン」と、風鈴のような音を奏でるそうです。「その響きは作品の産声のようです」と、笑顔で教えてくれました。

地域活動で広がる輪

そんな小川さんは、民生委員・児童委員や南町三丁目町会の町会長を務めるなど、コミュニティ活動にも積極的です。町会では、花が増えれば、ごみや犯罪が減るだけでなく、地域の皆さんのコミュニケーションのきっかけになると、婦人部を中心に、ペットボトルの蓋と花苗を交換する、エコキヤップ運動にも意欲

これまで、地域の小学生の、卒業記念の陶器作りに協力したり、公民館で陶芸の指導をしたりしてきた小川さんにとって、陶芸を通じての子どもたちとの触れ合いも、楽しみの1つです。今月は、27日に南公民館の夏休み子ども教室の講師を務める予定で、「子どもたちから刺激を受けた」と、意気込んでいます。



町会で積極的に取り組む花いっぱい運動

「皆さんが助けてくれるから」と、謙遜しますが、町会の皆さんからは、「町会長が『全員が主役です』と言ってくれるから、町会全体が明るいんです」と、口をそろえるほど厚い信頼を受けています。「私は裏方でこつこつ汗を流す方が好きなんです」と小川さん。趣味にも地域活動にも、正面から向き合う、その視線の先には、たくさんの方々の笑顔があふれる情景が広がっているようでした。

蔵 いま むかし

中山道沿い 春日商店会の様子



語る人 飯田和子さん 錦町5丁目・74歳

昭和25年頃発足した春日商店会は、主に中山道沿いの旧浦和市との境から第二中学校付近までに、魚屋や下駄屋などの小売店が軒を連ねていました。昔の写真は、昭和40年の春日商店会の様子です。私は写真左の酒店に、昭和33年に嫁いできました。この辺りは、写真右にある薬局のほか、並びには春日中央ストアなどもあり、日用品をお買い求めになる皆さんで特ににぎわっていました。酒蔵も3人の従業員を雇い、白幡や美女木辺りまでミゼット(写真左端)で配達していくほど盛況でした。当時は中山道に沿って



先月20日から開設の臨時相談コーナー(市役所)

地デジ詐欺にご注意を

公的機関や放送事業者などをかたり、工事の勧誘や工事代金を要求する詐欺が発生しています。おかしいと感じたら、蕨市消費生活センター(☎432・4286)へご相談ください。

地デジの対応が済んでいない場合、24日以降、テレビが御覧になれません。デジサポ(総務省テレビ受信者支援センター)では地デジ未対応世帯や切り替え直後の緊急の相談に際するため、相談コーナーを設置しています。臨時相談コーナー(無料)市役所正面ロビー

18日を除く月・火曜日 610・8080) デジサポ埼玉(☎048・70・023・724) アナログ放送終了日が迫っています。皆さんの周りに地デジの準備で困っているかたはいませんか。ぜひ、お声がけをお願いします。問い合わせ

地デジの準備 お済みですか

今月24日 アナログ放送終了

(8月23日まで) くるる1階ロビー 3日~31日の毎週日曜日 時間は11時~17時 時間は11時~17時 ※この他、戸別訪問も実施。また、低所得のかたにはチューナーの無償給付を行っています。対象NHK放送受信料全額免除世帯、市民税非課税世帯 詳細 2チューナー支援実施センター(☎0570・023・724)



笑顔あふれる異学年交流

子どもクラブ

東小学校

6月17日に開かれた「東つ子なかよし集会」は、東小学校の全校児童334人が、学年を超えて交流を図る特別活動です。3年生以上の子どもたちは、みんなに楽しんでもらおうと、クラスごとにゲームや出し物を企画・運営しました。「最後まで崩れないでね」と、お祈りしながら空き缶を重ねる「かんつみ」や、「ほんものの芸人さんみたい」と、観客を魅了し、爆笑の渦に巻き込んだ「お笑い」など、8つの催しはどれも大盛況。元気な声が響く校内は、子どもたちのさらさらした笑顔でいっぱいでした。

室内・夜間もご注意を もうすぐ暑い夏本番 熱中症予防は万全ですか



親と子の ニュースの 小窓

熱中症が心配な季節になりました。体が暑さに慣れていない今月上旬から、35度以上の猛暑日が多くなる8月にかけて、熱中症にかかる人が増加します。特に高齢者や幼児、小児は注意が必要です。そこで今回は、熱中症の予防法について紹介します。

涼しい場所でこまめに水分の補給を

ワラビ ふー外は暑いね。お母さん 熱中症にならないようにしなきゃね。去年は5万人以上が病院に救急搬送されたのよ。ワラビ どうすれば熱中症にならないかな。保健師さんに聞きに行こうよ。保健師 こんにちは。熱中症は気温の高い日はもちろん、湿度の高い日や風の弱い日も注意が必要ですね。あと、急に暑くなつた日は体が慣れていないので気をつけてください。ワラビ そういふ日はどうすればいいの? 保健師 できるだけ涼しい所で過ごすことと水分の補給がたいせつですね。

特に高齢者の皆さんにご注意ください

ワラビ 気をつけるのはどんな人たちの? 保健師 まず、体温調節機能が未発達な幼児や小児は注意が必要です。お母さん あと、高齢者の皆さんですよ。保健師 はい。去年、熱中症で病院に救急搬送さ

ワラビ 外で遊ぶときは、帽子をかぶって、水筒を持っていかなきゃね。保健師 そうですね。また、熱が籠ると室内でも油断ができません。室温が28度を超えないようにエアコンや扇風機などを活用しましょう。お母さん 水分の取り方で気をつけることは? 保健師 はい。喉が渇く前や外出前から水分を補給するといいですね。塩分を含んだスポーツ飲料なども効果的です。また、日頃から体を動かしていると汗をかきやすくなり、体温調節機能がうまく働きますよ。

れたおおよそ半数が高齢者です。暑さを感じにくく、汗をかきにくい、涼しい衣服への着替えやエアコンの利用などが遅れてしまうので、室内や夜間でも注意が必要です。お母さん 早めの対応がたいせつなのね。今年



わが家のアイドル

龍太郎ちゃん (1歳9か月)

市村 章さん 千晴さんの長男 中央6丁目 -471-

「龍太郎は、家中走り回ったり、おもちゃをひっくり返したりと、元気いっぱいです。天気の良い日はいつも砂遊び。玄関で泥だらけの服を脱がせて、浴室へ直行です。慌ただしい毎日ですが、それも幸せに感じますね」と、

母親の千晴さん。父親の章さんも「仕事から帰って龍太郎と過ごす、一日の疲れが吹き飛びます」と、にっこり。「健康第一ですが、人に優しく、思いやりのある子に育ててほしいですね」と、お二人は口をそろえています。



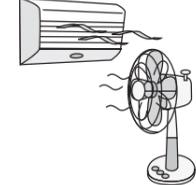
優しさの「環境行動」

繁殖期のカラスに注意 4月から7月にかけては、カラスが繁殖期を迎え、ひなを守るために人を威嚇したり、襲ったりすることがあります。巣を見かけたら、絶対に近

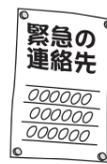
づかず迂回するようにしましょう。やむをえずそばを通る場合は帽子や傘で被害防止を心がけてください。特に巣立ちのこの時期、ひながうまく飛べずに地面に落ちることがありますが、その周りでは親鳥が外敵の接近を強く警戒しています。不用意に近づくと危険です。でも、カラスが攻撃的になるのは巣立ちまでです。被害に遭わないためにもご理解いただきますよう、お願いします。問い合わせ 安全安心推進課生活環境係(☎443・3706)

高齢者の熱中症予防チェック

- こまめに水分補給をしている
- 部屋の温度を測っている
- エアコン・扇風機を上手に使用している



- 部屋の風通しを良くしている
- シャワーやタオルで体を冷やす
- 緊急時・困った時の連絡先を確認している



※環境省熱中症情報より抜粋

節電意識の高まりでエアコンの利用を控える人も多いでしょうね。保健師 でも無理は禁物です。温度計で室温を確認してエアコンや冷却グッズを活用してください。ワラビ 他に気をつけることは? 保健師 高齢者は体内の水分量が少なく、喉の渇きも感じにくくなっています。日中だけでなく、

寝る前も意識的に水分を取ってください。もし、めまいや頭痛、吐き気などがあれば、すぐに医療機関で受診しましょう。ワラビ 早速、おばあちゃんに教えてくるね。保健師 周囲の高齢者への気配りはたいせつですね。熱中症は予防ができる病気です。体調に合わせ、無理をしないように夏を過ごしましょう。

輝いていまひと

WICA代表

狩野 弘輝 さん

海

外の同世代の仲間や受け入れ家庭と交流する国際青少年キャンプ。平成12年に始まり、9回目となる今年は蕨市と姉妹都市のアメリカ・エルドラド郡へ今年25日に出発します。その事前研修会で、「何か得てほしい」と熱っぽく話すのは、WICA代表の狩野弘輝さん（錦町1丁目・19歳）です。キャンプ経験者20人で組織するWICAは、「蕨・インターナショナル・カルチャー・アソシエーション」の略称。後輩たちのため

に、3年前から市の国際交流事業を支えています。高校時代、何気なくキャンプに参加した狩野さんですが、雄大な自然や温かい受け入れ家庭の前に、「積極的に行動しよう」と奮起。交流を深めるダンスやラフティングなどで、英単語と身ぶり手ぶりを交えて、現地の人たちの輪に飛び込んでいきました。すると、言葉は通じなくても、お互い笑顔が広がり、最終日には長年の友人のような感覚に。「心の交流ができた」と振り返ります。

後輩のために国際交流を支援



国際交流に魅了された狩野さんは、翌年のキャンプにも参加。帰国後、事業を後輩たちにつなげていくことが恩返しになると、WICAを発足しました。そんな狩野さんを、「高校時代から努力家。頼もしいですね」と国際交流事業実行委員会・向井昌子委員長は目を細めます。今、大学で中国語を専攻する狩野さん。将来は思案中ですが、キャンプで得た「行動する勇氣」と「感謝の心」を胸に世界へ羽ばたいていくでしょう。

中山道まち歩き

No.3

北町3丁目の織物店

Check!



北町3丁目
なかむら ふみお
中村 文夫さん

私がこの織物店の3代目となります。幼少の頃、中山道沿いに多くの同業者が並んでいたのが懐かしいですね。蕨の織物を次世代に引き継いでいきたいです。

中

山道の宿場町として栄えた蕨は、

織物のまちとしても知られ渡りました。織物業が栄えるきっかけとなったのは、江戸時代末期、塚越村の高橋家5代目新五郎が開発した「青縞」が江戸で評判になったことからです。

明治時代に宿駅制度が廃止されると、中山道沿いには機屋や買継商など多くの織物業者が軒を連ねるようになりました。毎月6回、駅前通りで行われた織物の市の日には、汽車で訪れた都内の織物業者にぎわったそうです。描かれているのは、北町3丁目の中富織物

です。中村家5代目富五郎が明治20年頃に機屋を創業。建物は富五郎が設計して、都内から呼んだ大工によって昭和2年に建てられました。当時は工場が後ろにあり、10人以上の女工が建物の2階に住み込みで働いていました。昭和初期まで、着物や帯などの小幅物を織っていました。だが、やがて、靴の布や日よけの布など工業用資材へと移行していきます。写真は現在の様子です。数少ない蕨の織物業者として、革靴の布などを扱っています。建物は平成20年に建て替えましたが、中山道の街並みに合った雰囲気となっています。



絵／當摩 源一郎さん



歴史の面影が感じられる建物です